



～家族でワンチーム～

お手伝いを頼んでも「え～なんでやらなきゃいけないの?」「またやるの?」「わたしばかり」なんて言葉が聞かれます。子どもたちのなかに「家事はお母さんがやるもの」と思われていませんか?

そうなるとお手伝いは、お母さんがやらなければならないことを代わりにやらされているという思いが強くなり、お母さんがイラッとする言葉が返ってきてしまいます。

そこにはお父さんや家族の協力が必要です。お父さんや他の大人が「家族はひとつのチーム。そしてあなたはチームの一員として果たすべき役割がある」という意識を持たせてあげましょう。お父さんや大人がゴロゴロしながら「お前、お母さん手伝ってやれよ」と言っても説得力はゼロです。大人から「一緒にやろう!」と誘ってあげましょう。

参考文献 『アドラー心理学 人生を変える思考スイッチの切り替え方』 監修 八巻 秀 (株)ナツメ社

引用文献 『男の子の育て方』 諸富祥彦 著 WAVE 出版

